

令和 5 年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）
研究成果等概要報告書

研究テーマ名	農産物・食品の輸出制限的措置による世界の食料需給・貿易構造及びフードセキュリティへの影響に関する研究
政策研連携研究課題名	農産物・食品の輸出制限的措置発動のリスクを踏まえた望ましいフードセキュリティ指標構築に関する研究
研究実施期間（西暦）	2023 年度 ～ 2025 年度（3 年間）
PO	小泉 達治

1 研究の進捗状況等

① 輸出制限的措置が世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応

2022 年に農産物・食品の輸出制限的措置を発動した 30 か国についての類型化、発動が世界食料需給・世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応について予備的考察を行った。

< 学会報告 >

- ・小泉達治・三石誠司「リスク・不確実性が増大する世界食料市場とフードシステム」『令和 5 年度日本フードシステム学会シンポジウム座長解題』2023 年 6 月 10 日。
- ・小泉達治・古橋元（2023）「農産物・食品の輸出制限的措置が世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応」『令和 5 年度日本フードシステム学会個別報告』2023 年 6 月 11 日。

< その他報告 >

- ・Tatsuji Koizumi and Gen Furuhashi “Impacts of Export Restriction Measures in the Agricultural and Food Sector on Global Food Security”, *G7 Joint Discussion Project* (2023 年 10 月 5 日)

< 論文等 >

- ・小泉達治・三石誠司（2024）「リスク・不確実性が増大する世界食料市場とフードシステム」『フードシステム研究』第 30 巻 3 号, pp.129-133。
- ・小泉達治・古橋元（2024）「農産物・食品の輸出制限的措置が世界のフードセキュリティに与える影響と政策対応」『フードシステム研究』第 30 巻 4 号, pp.291-296
- ・Tatsuji Koizumi, Gen Furuhashi, Takumi Sakuyama. “Impacts of Export Restriction Measures in the Agricultural and Food Sector on Global Food Security”, 刊行決定（2024 年末刊行予定）。

② 世界のフードセキュリティの定義や新たな展開についての論点整理・考察

フードセキュリティの概念・定義、FAO によるフードセキュリティ指標を整理し、フードセキュリティの定義や新たな展開について考察を行った。

・小泉達治「フードセキュリティの国際的潮流から学ぶ一顧在化するリスク・不確実性」『2024年度日本農業経済学会大会特別シンポジウム』，2024年3月30日

③ 主要国における輸出制限的措置発動の動向調査

主要農産物輸出国等による農産物・食品の輸出制限的措置の動向について調査・分析を実施。

- ・草野拓司「インドー水不足下におけるサトウキビ作農民の経営改善の方策に関する一考察」令和5年度カントリーレポート。
- ・田澤裕之「アルゼンチンーエルニーニョ／ラニーニャ現象を背景とした経済・社会的苦境と政権交代」令和5年度カントリーレポート。
- ・後藤正憲「ロシアー西側諸国との間に深まる溝とその影響」令和5年度カントリーレポート。

（注1）全研究期間をとおしての研究全体の進捗状況を5行程度で簡潔に記載し、当該年度に研究を実施した研究項目ごとの進捗状況を3～5行程度で簡潔に記載すること。

（注2）学会発表、論文発表等成果の公表状況（リスト）を添付すること。

（注3）農林水産政策研究所のホームページで公表するため、未公表データや知的財産等に関係する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。